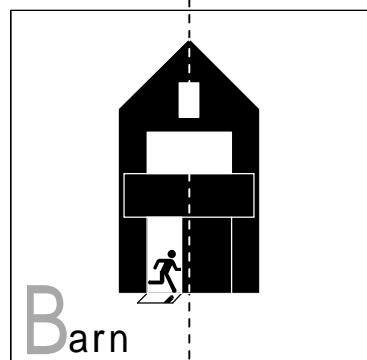
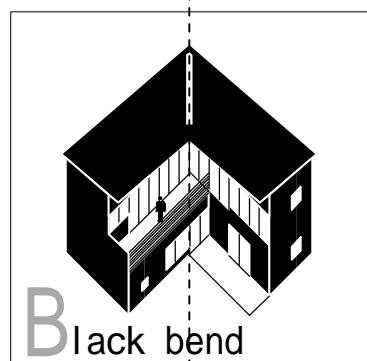


左右対称主義

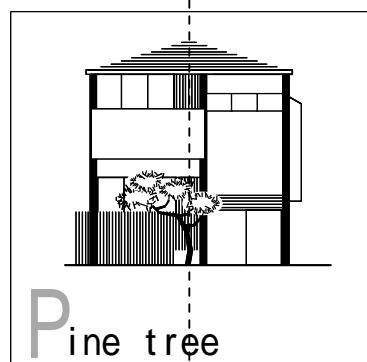
中村康造建築設計室



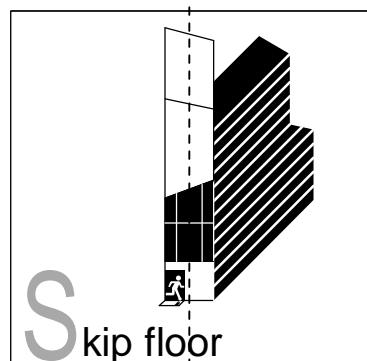
納屋のような家



黒の曲り家



松の木のある家



スキップフロアの家

納屋のよくな家



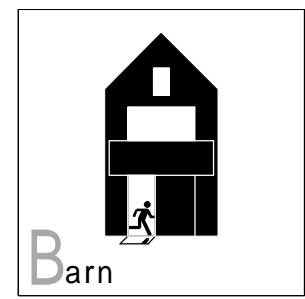
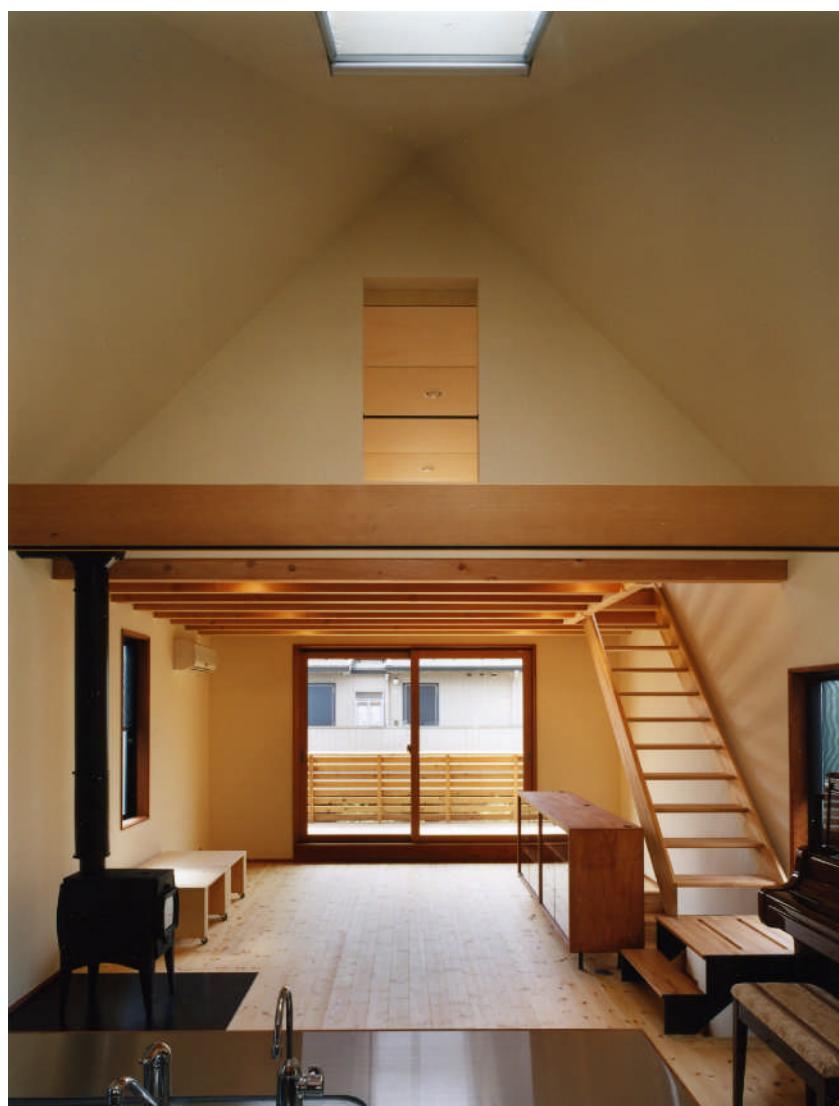
アンドリュー・ワイエスの絵に描かれるような
「家らしい家」をイメージして

「小さな家だけど家族が集まれるリビングにしたい」
2階に設けた間仕切りのないワンルームのLDK。
天井は屋根の形がそのまま現れて、楽しいインテリアに。はしご階段の上のロフトは子供の遊び場。



「ログハウスや別荘のような家が好きなんです」

絵本に出てくるような、左右対称の家型の外観。
セメント板だけど板葺きのような屋根材で壁まで包んでローコストと質感を両立。レッドシダーの建具
や手摺がアクセントに。





「手持ちのアンティーク調のピアノや家具を置きたい」

木の柱や梁を現したインテリアと、造り付け家具を赤茶色の染色塗装することでアンティーク家具の似合うインテリアに。鉄製の薪ストーブもポイントに。

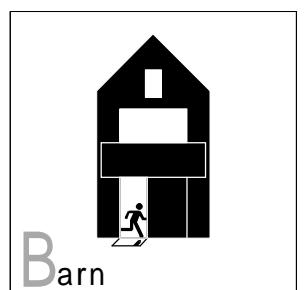


ロフトからキッチンを見下ろす。北側でも天窓からの光であかるく。キッチンもインテリアに馴染むように家具工事で制作。



家族の成長に合わせて仕切りを変えられる長い寝室。

納屋のような家

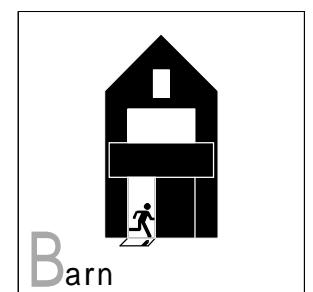


・・・単純に見えるプランの中にたくさんのアイデアがつまっている



名称	"納屋のような家"
所在地	東京都大田区
用途地域	第一種低層住居専用地域 (50/100)
敷地面積	90.92m ² (27.55坪)
建築面積	45.4m ²
延べ床面積	101.7m ² (30.8坪)
構造・規模	木造軸組工法 2階建て
工事費	1900万円(外構・設備含む)

納屋
の
よ
う
な
家



黒の曲り家



「富士山が見えるのでこの土地に決めました。この風景を存分に楽しむたい。」
長い建物をV字型に折り曲げたようなプランで、南側の富士山や南アルプスを取り込む。

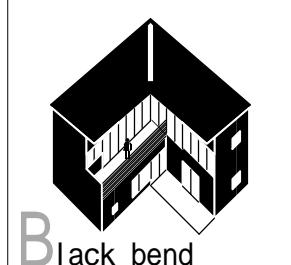


「ちょっと個性的な外観も良いね」
外壁は杉材を保護塗装で黒く塗り、サッシや雨樋の
色も合わせることで風景の中でひとつのシルエットと
して映える外観。

(上) 南側の外観
2階のLDKは端から端までの連続窓。屋根は
北に向かって低くなる変形の片流れ。

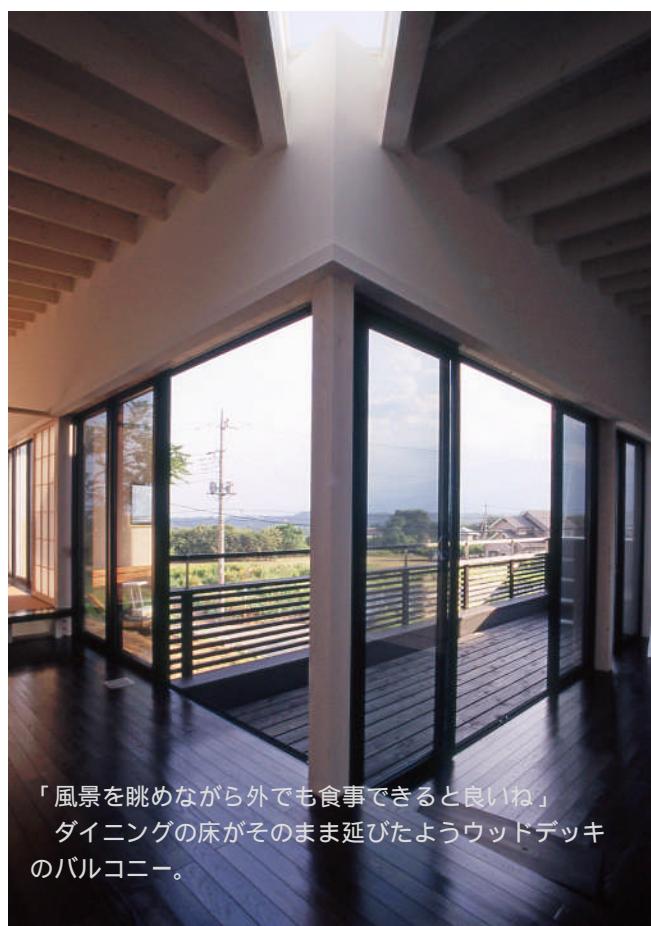
(左) 北側の外観
隣家に面した北側はプライバシーを考えて
小さな窓を等間隔に並べる。
屋根の中心に見えるのはスリット状の
トップライト。

黒の曲り家





「自然を感じられるが田舎風でない、都会的でリゾートのような家がいいのだけど……」
木の柱・梁を白く拭き取り塗装して黒い栗のフローリングと合わせ、全体をモノトーンでまとめる。

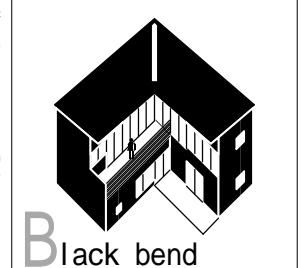


「風景を眺めながら外でも食事できると良いね」
ダイニングの床がそのまま延びたようウッドデッキ
のバルコニー。



「あこがれの薪ストーブは家のシンボルにしたい」
LDKの中央に壁などで囲わずにポンとオブジェのように置く。

黒
の
曲
り
家



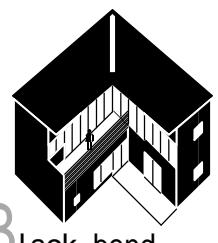
「ワインと料理が大好き！キッチンにもこだわりたい！」

部屋の家具のひとつのように置かれたアイランドキッチン。風景を眺めながらのお料理。照明器具を見せないライティングでちょっとしたレストランのような雰囲気に。

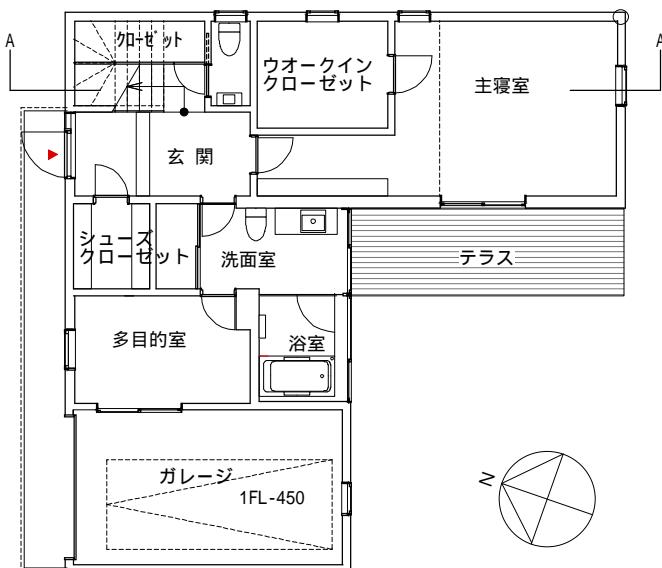


「仕事があるから家にいる時間は意外と夜が多いかも・・・」
夜もリラックスして過ごせるように間接照明を利用したライティング。
床の段差からの光は、下の部屋の照明を利用したもの。

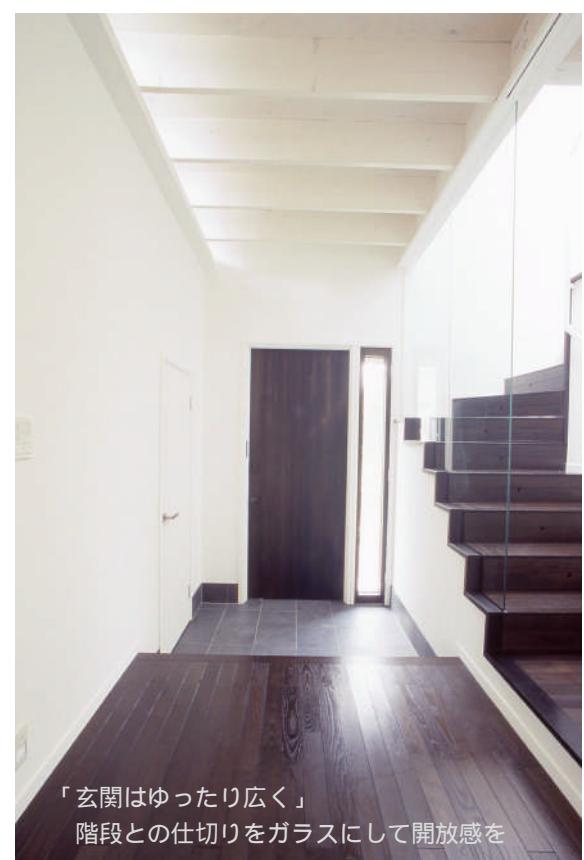
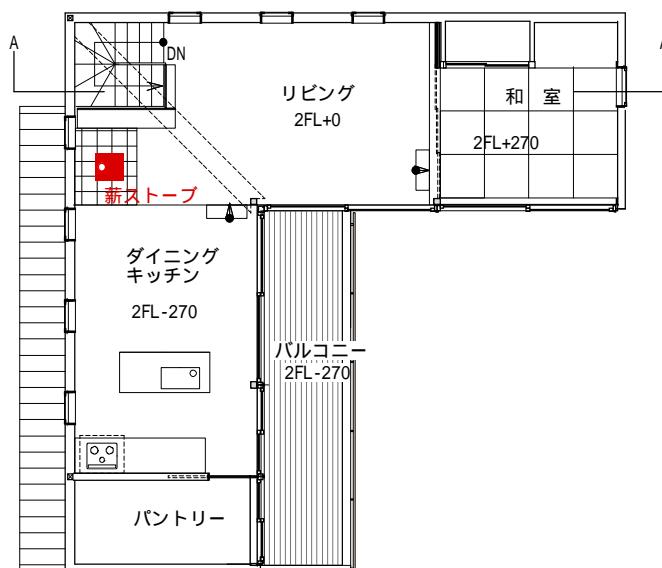
黒
の
曲
り
家



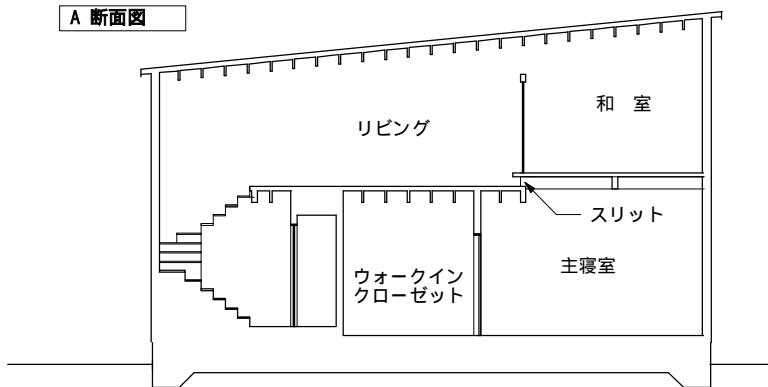
1階平面図



2階平面図



A 断面図



データ

所在地：山梨県甲斐市

構造：木造軸組

家族構成：夫婦2人（40代）

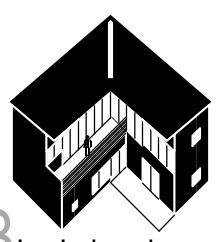
敷地面積：567.63m² (171.36坪)

延べ床面積：128.35m² (38.75坪)

建築面積：79.49m² (23.99坪)

構造設計：吉田一成構造設計室 施工：山口工務店

黒の
曲り
家



松の木のある家

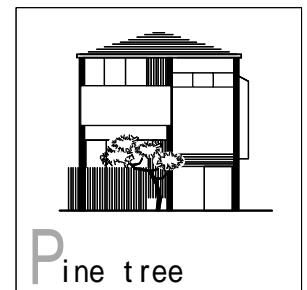


「敷地に残っていた松の木を活かしたいのだけど・・・」
松の木が映えるように白い左官の壁と木の骨組みが端正な
和を感じさせる外観に。



松の木を眺める南向きの和室。雨戸と濡れ縁の木の格子が軽快な表情を見せる。

松の木のある家



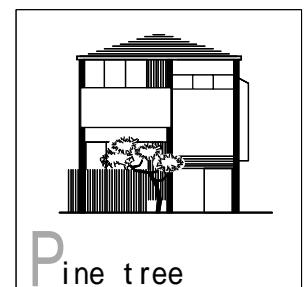


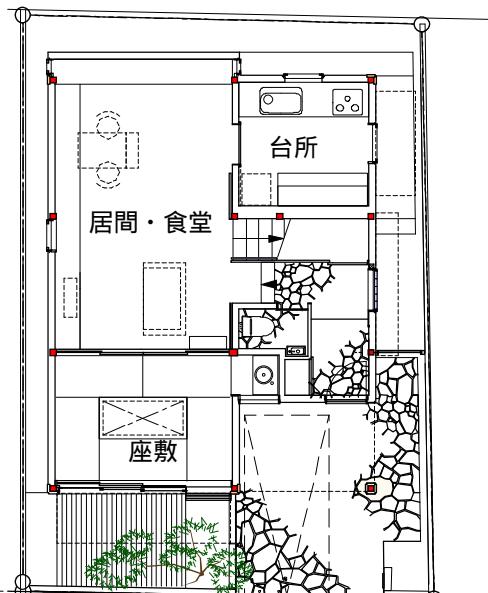
「両親が泊まれる和室が欲しいが、普段はリビングの延長でくつろげる場所にしたい。」
リビングとつながった掘りごたつのある南向きの和室。雪見障子・水屋風の手洗い・和紙の照明。畳を敷いただけではない折り目正しい和室。



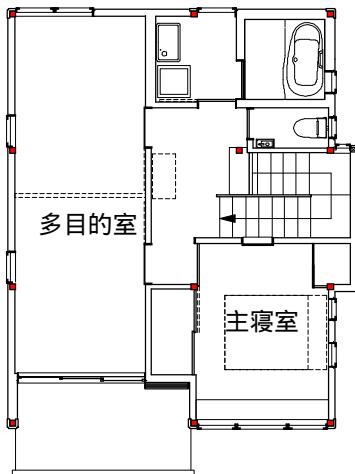
リビング・ダイニングから和室を見る。1階だけど、天井高さは3mで和室からの光が廻りほんのりと明るい空間。透かしの欄間は桂離宮をイメージ。正面の低く長い台はTV台兼食卓のベンチ。木の柱・梁をポイントで表して和のインテリアに。

松の木のある家

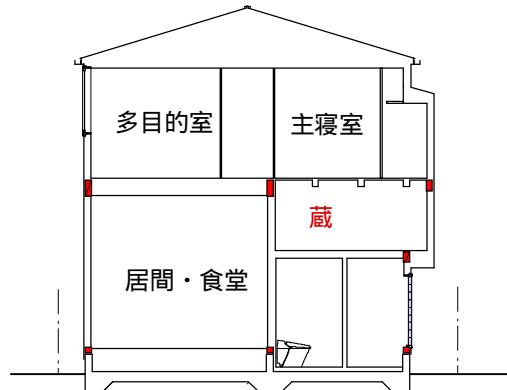




1F PLAN



2F PLAN



SECTION

S=1/150

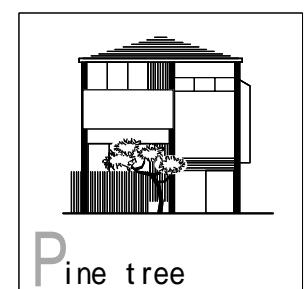


DATA

所在地	千葉県 船橋市
構造・規模	木造軸組み 地上 2 階建
敷地面積	93.51m ²
用途地域	第一種住居/第一種中高層住専
建築面積	55.41m ²
延べ床面積	107.22m ²
1階床面積	53.82m ²
2階床面積	53.40m ²

階段の上にはトップライトを設け、家の中央を明るくすると共に、煙突効果で無風時でも自然換気を可能に。
階段の脇には階段と同じ集成材で作った手摺り兼ベンチ

松の木のある家



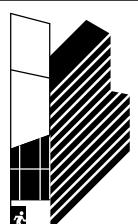
スキップフロアの家

夕方には左右対称のスリット窓から灯りがこぼれて、建物全体が行灯のように浮かび上がる。



「長細い敷地を有効に使いたい」
敷地の形を活かして板状のシンプルなボリュームに。
スリット状の窓は家の中の様子をカモフラージュし、コマコマしがちな小さい家に伸びやかなスケール感を与える。

スキップフロアの家



Skip floor



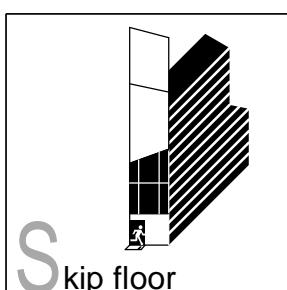
「限られた面積だからこそ、広がりを感じたい」

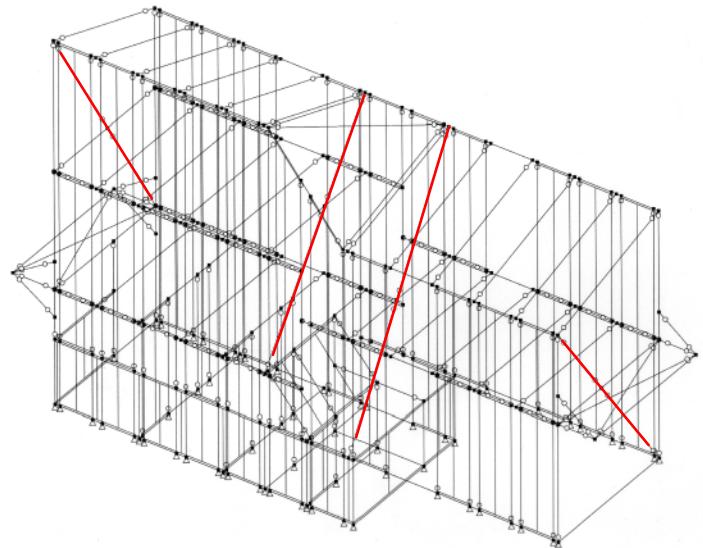
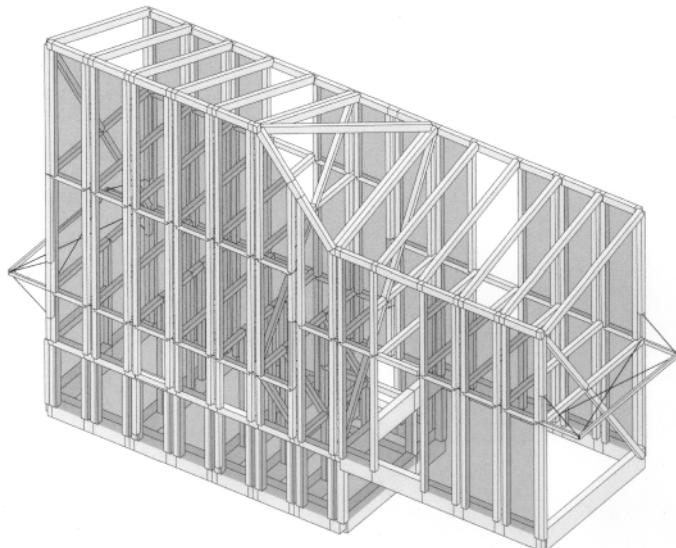
スキップフロアで連続した内部は立体的につながり面積以上の広さを感じさせる。左右に見える木のラインはダブル柱の間にガラスをはめたスリット窓。



大階段でつながったダイニングキッチンとリビングスペース。斜めの角材は耐震壁の代わりに筋交いの働きをする斜め柱。

スキップフロアの家



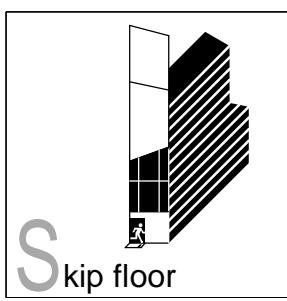


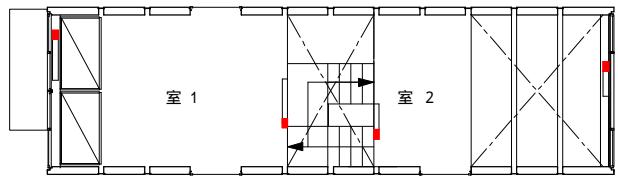
STRUCTURE MODEL

小さな家なので限られた室内を圧迫しないように骨組みは105mm角のスレンダーな材にそろえた。木造の住宅でもコンピュータを用いた構造解析にかけることで、自由で開放的な空間を可能にしている。

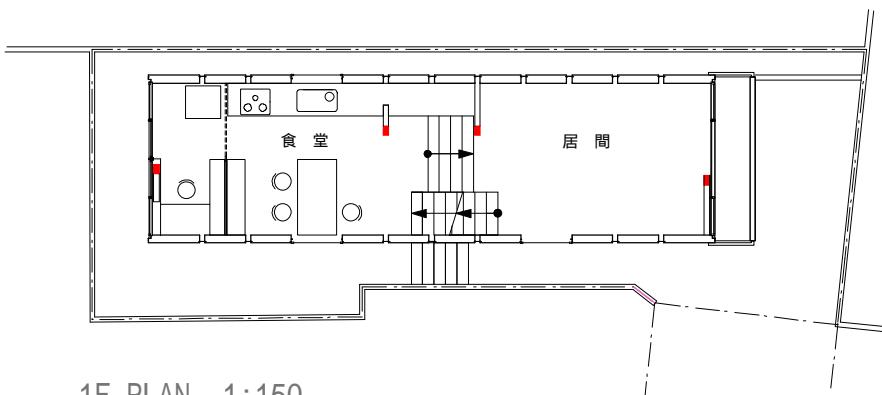


スキップフロアの家

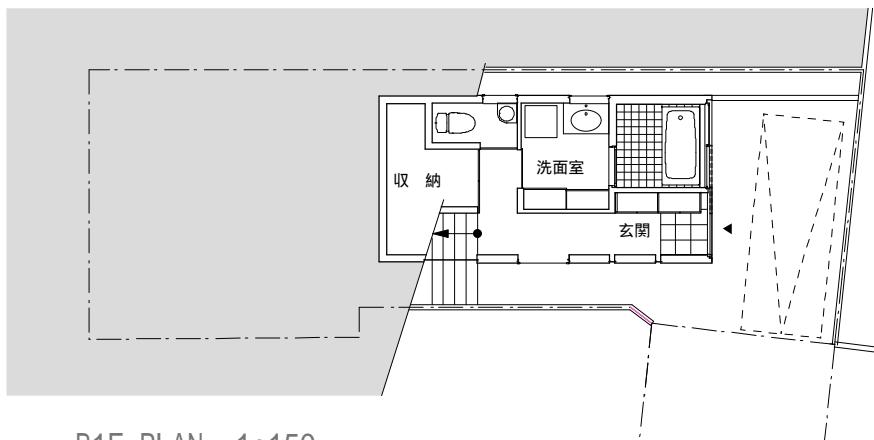




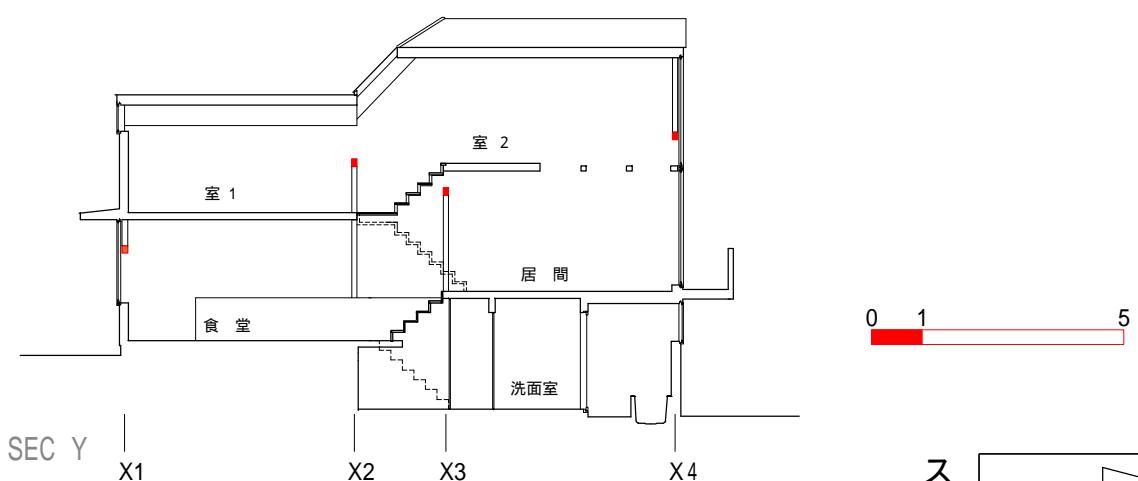
2F PLAN 1:150



1F PLAN 1:150



B1F PLAN 1:150



名称 "スキップフロアの家"
 所在地 東京都大田区田園調布本町
 地域地区 第1種低層住居専用地域
 第1種高度地区
 敷地面積 76.56m²

延べ床面積 75.96m² (23.0坪)
 建築面積 34.29m² (10.4坪)
 構造・規模 地上2階 地階1階 木造一部RC造

スキップフロアの家

